

広瀬隆雄の米国株市場の相場見通しと 注目銘柄アップデート！

開催日：2021年11月5日（金）夜8時

講師：広瀬隆雄

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

投資にかかる手数料等およびリスク

外国株式等の取引にかかるリスク

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

外国株式等の取引にかかる費用

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.45%（0.495%）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：20米ドル（22米ドル）

中国株式 約定代金の0.5%（0.55%）・最低手数料：500円（550円）・上限手数料：5,000円（5,500円）

アセアン株式 約定代金の1.00%（1.10%）・最低手数料：500円（550円）・手数料上限なし

※（）内は税込金額

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,000円（税込2,200円）が追加されます。

ETF／ETNのリスク(抜粋)

複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組み入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のルールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

ETFにおける信用リスク

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

ETN発行体の信用リスク

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

早期償還等のその他のリスク

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合などは、上場廃止となる可能性があります。

R 詳細は、当社HPの「ETF／ETNのリスク」をご覧ください。

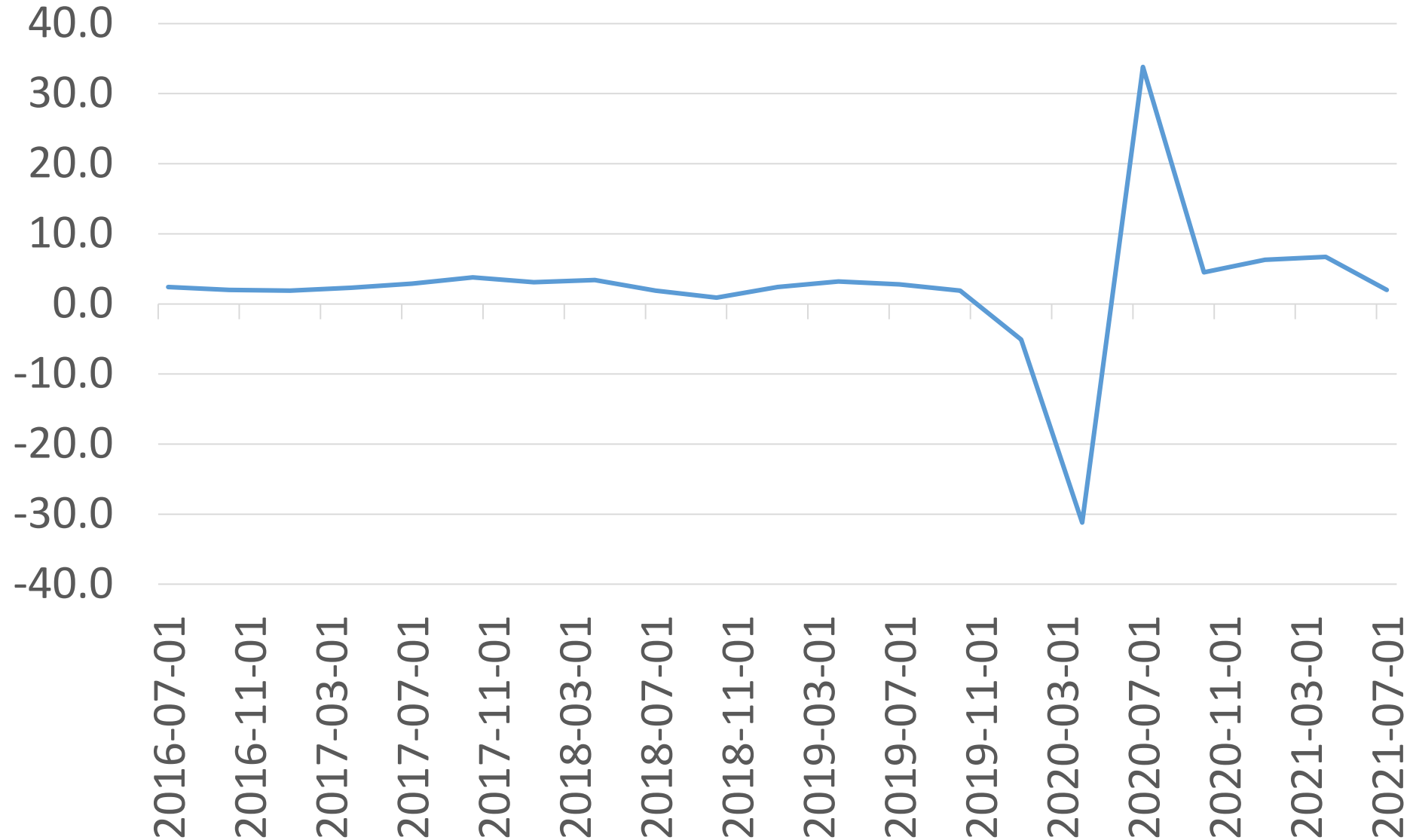
今日お話しすること

- 米国経済の現況
- 参考銘柄
- 質疑応答

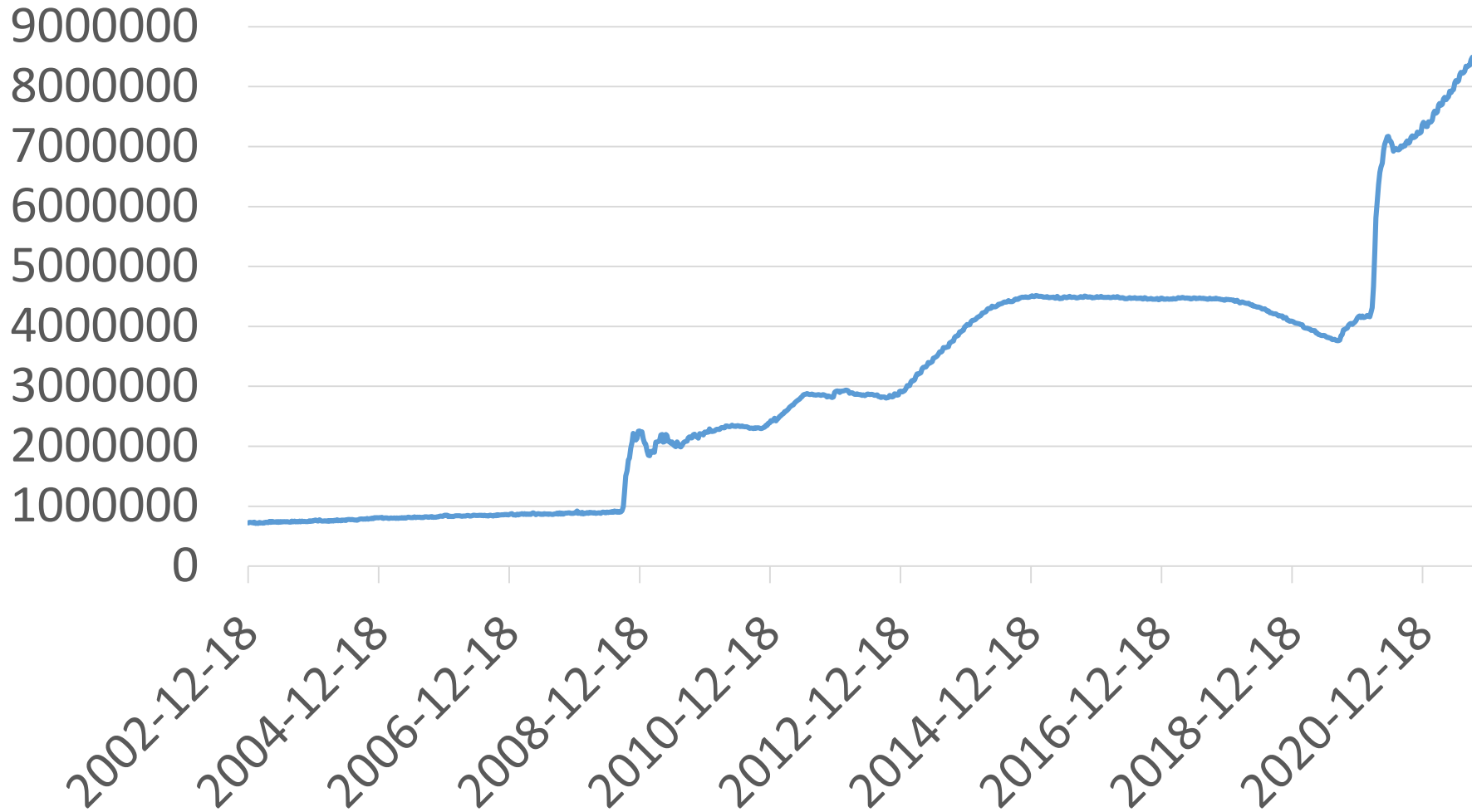
米国経済の現況

- サプライチェーンのボトルネックでインフレ圧力
- 労働力も余剰がある一方で企業が欲しがる人材は払底⇒賃金上昇プレッシャーあり
- 家計部門は健全(⇒年率換算で1.7兆ドルのペースで貯蓄中)、消費者はクリスマス・シーズンに向けて強気。とりわけサービス(レストラン、旅行など)に対する支出には積極的
- クリスマス商戦期間に消費者が欲しい商品を店頭で並べることが出来ないかも

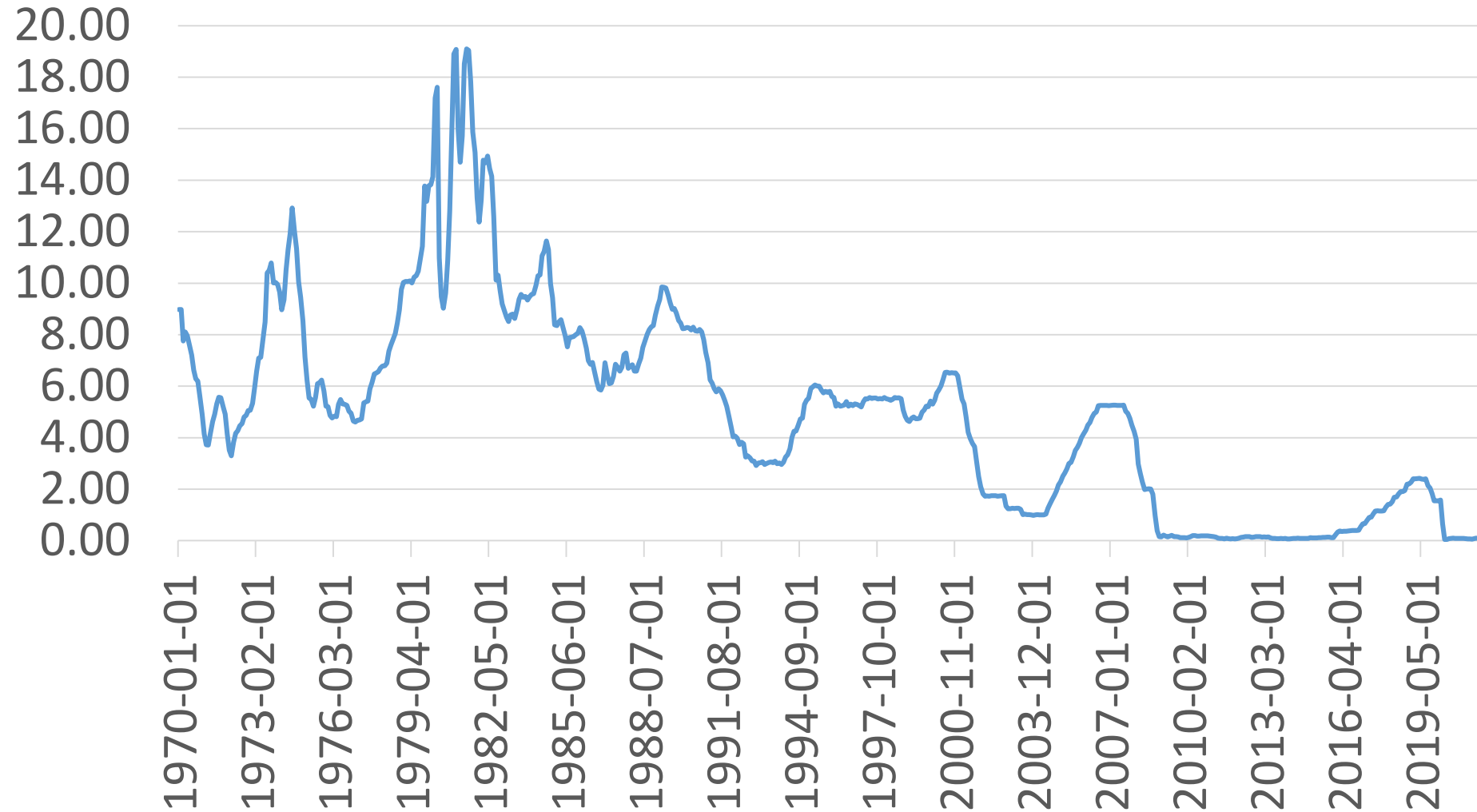
米国のGDP(%、前期比、セントルイスFRB)



連邦準備制度の総資産 (百万ドル、セントルイスFRB)

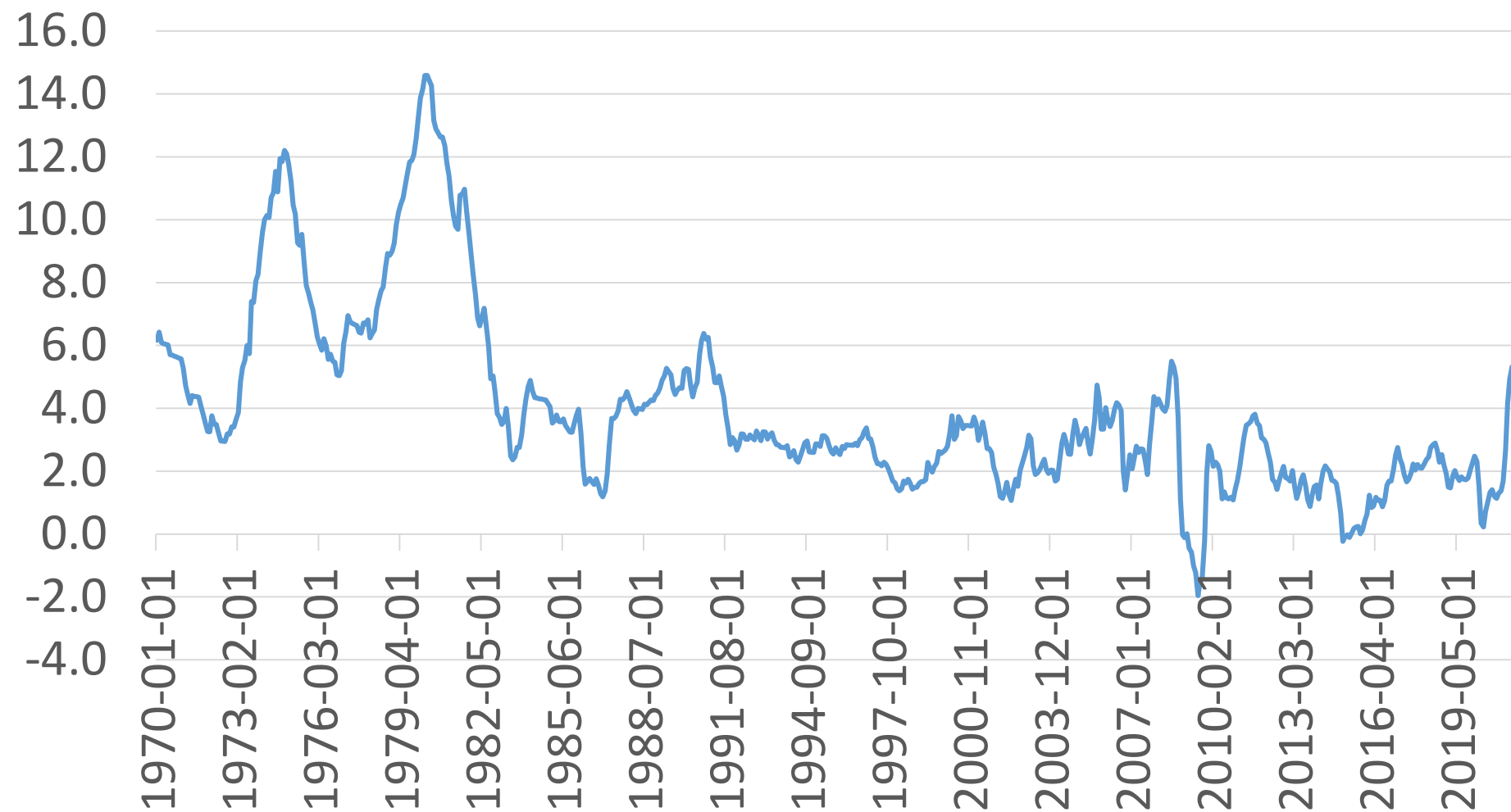


フェデラルファンド・レート (%、セントルイスFRB)



米国のインフレ

(%、前年同期比、セントルイスFRB)



2021年12月15日のFOMCでの政策金利の確率(%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日

100 100



0

0.25

0.5

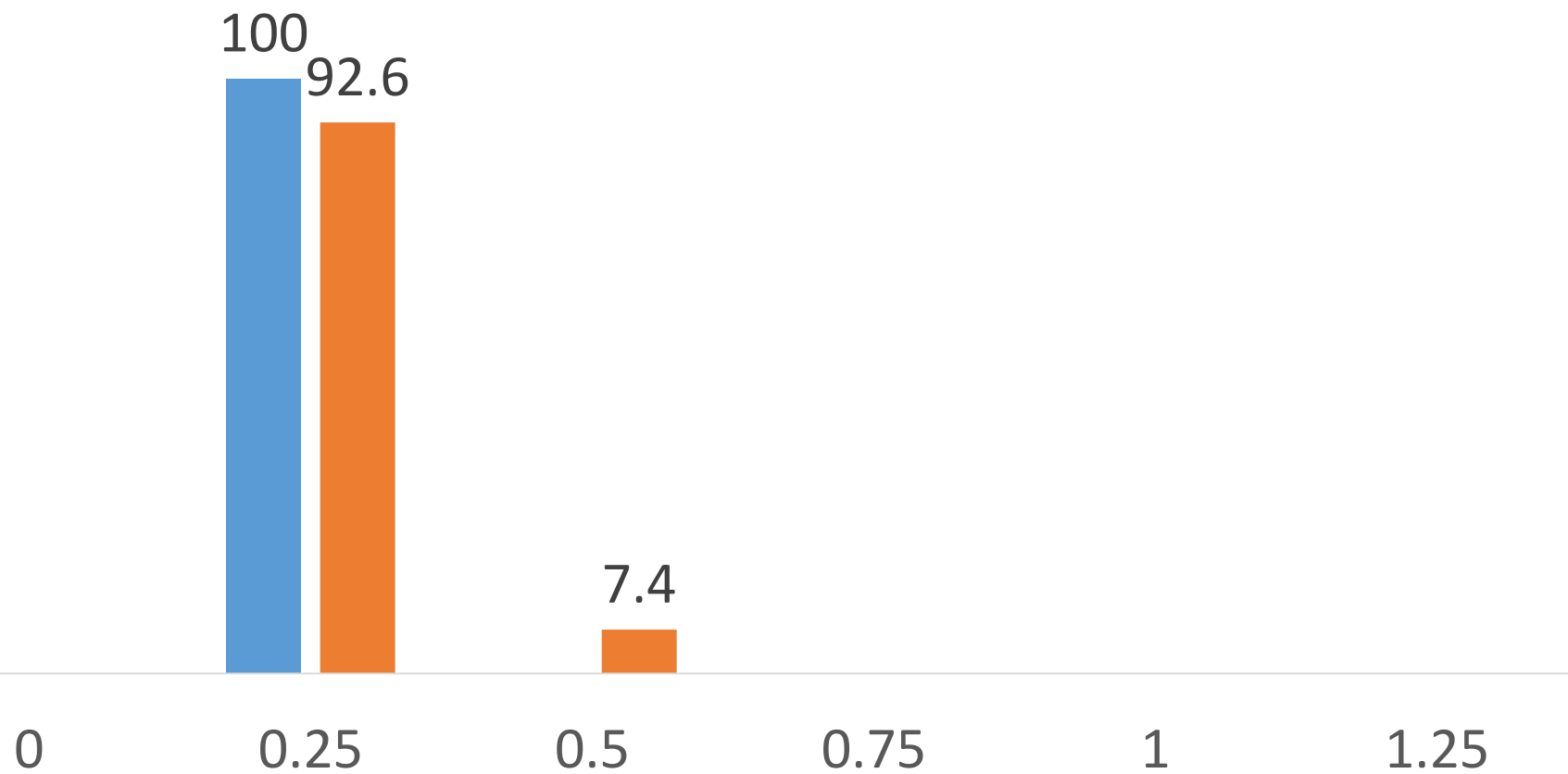
0.75

1

1.25

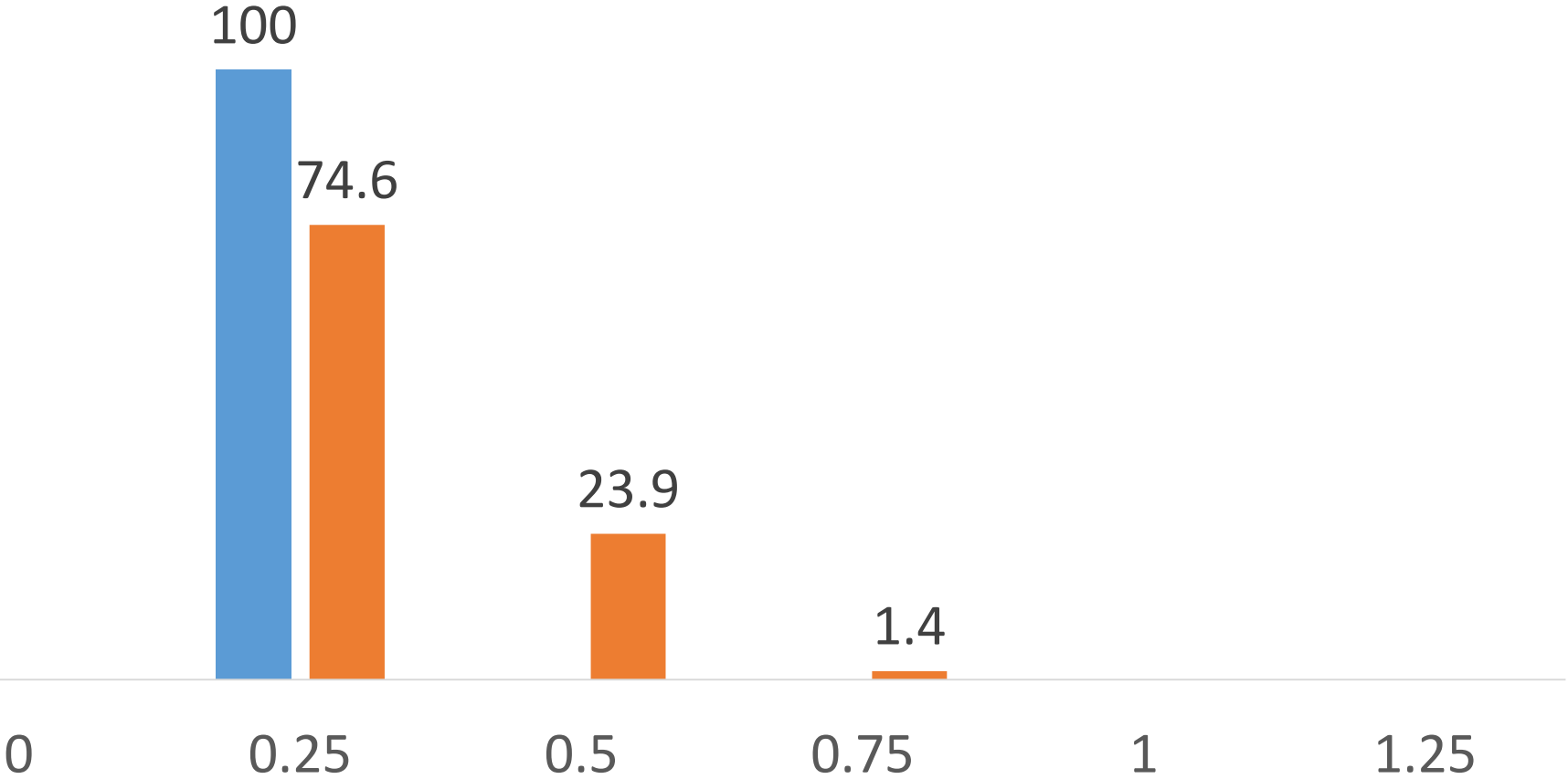
2022年1月26日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



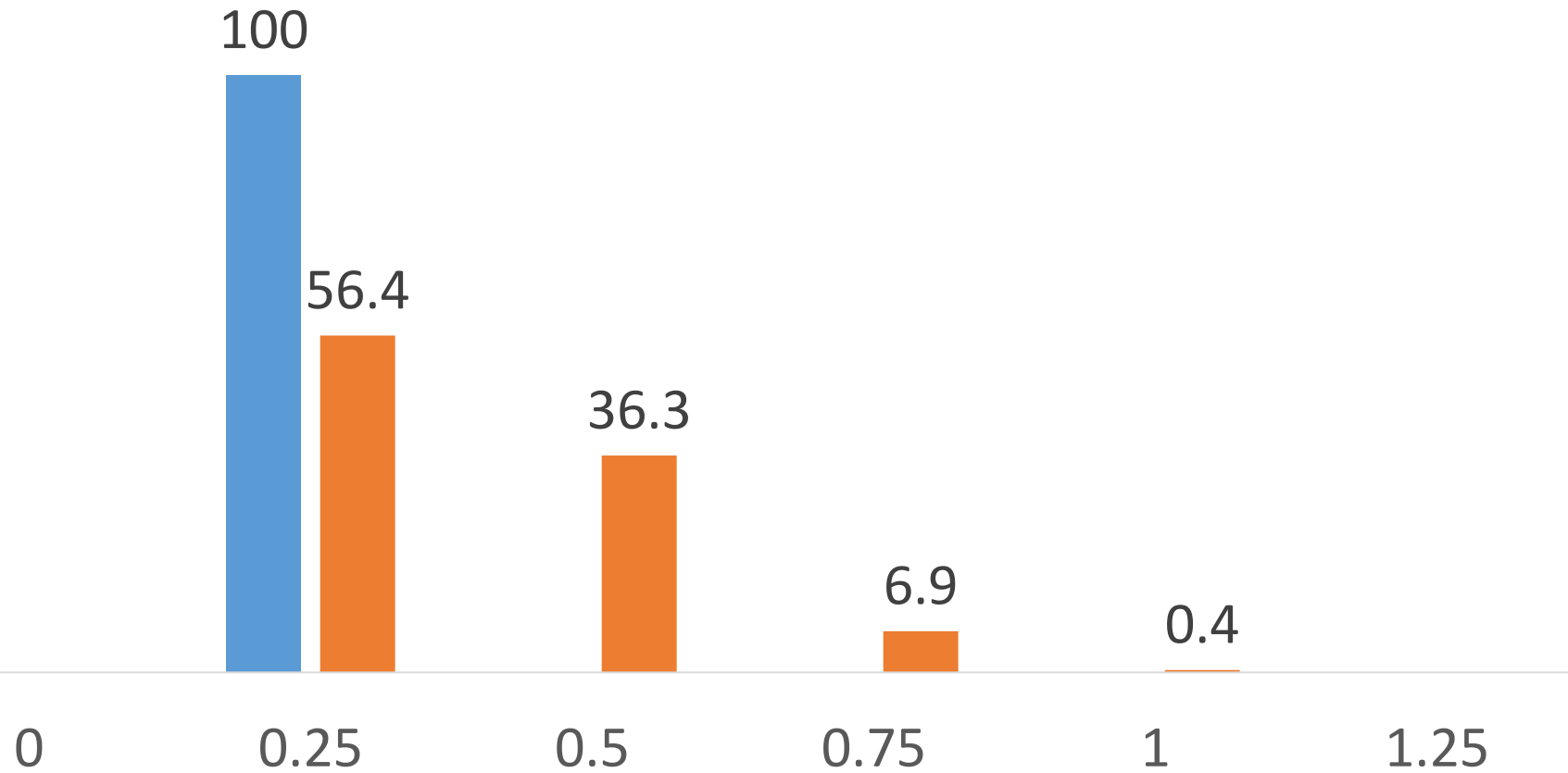
2022年3月16日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



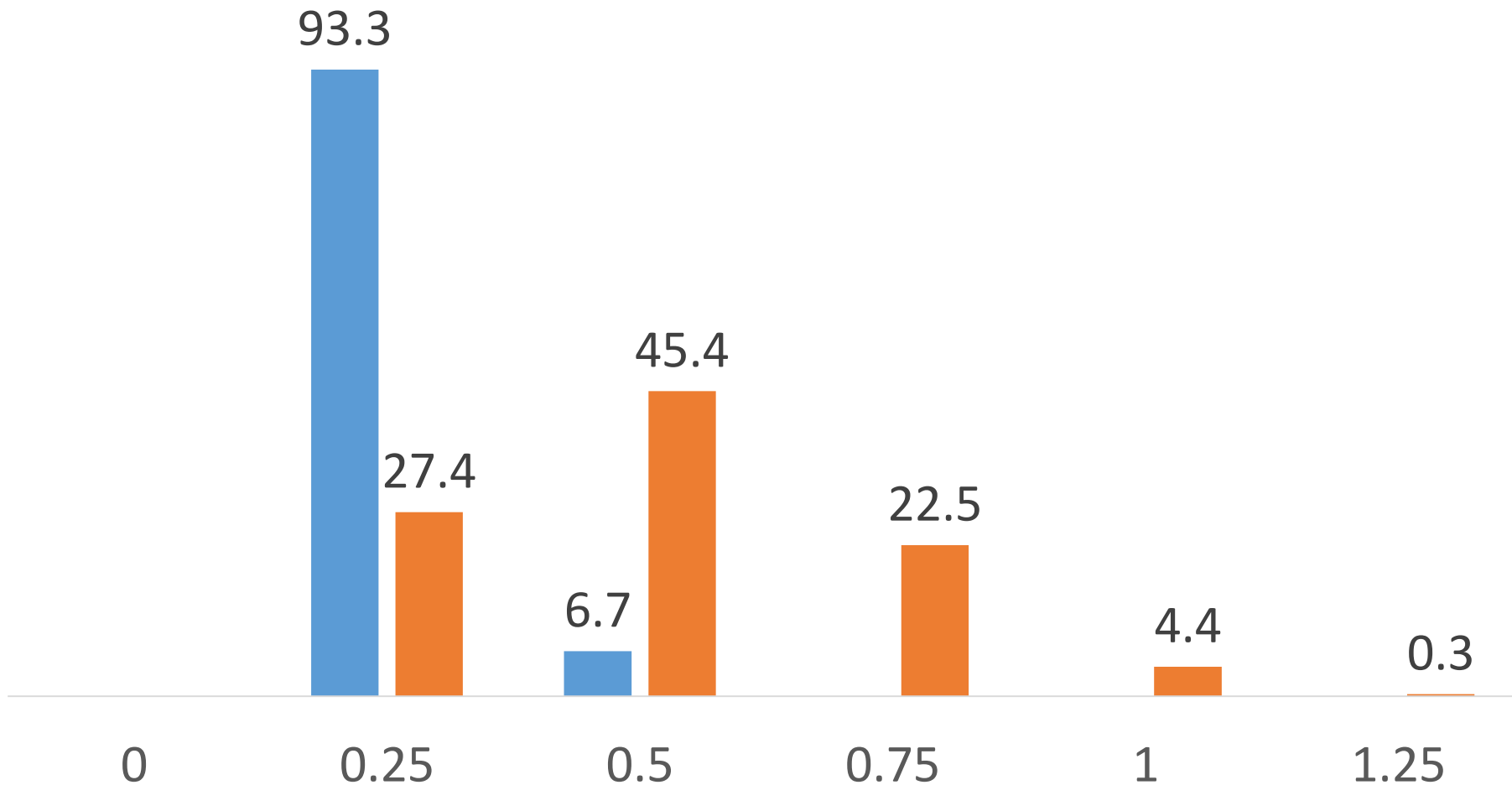
2022年5月4日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



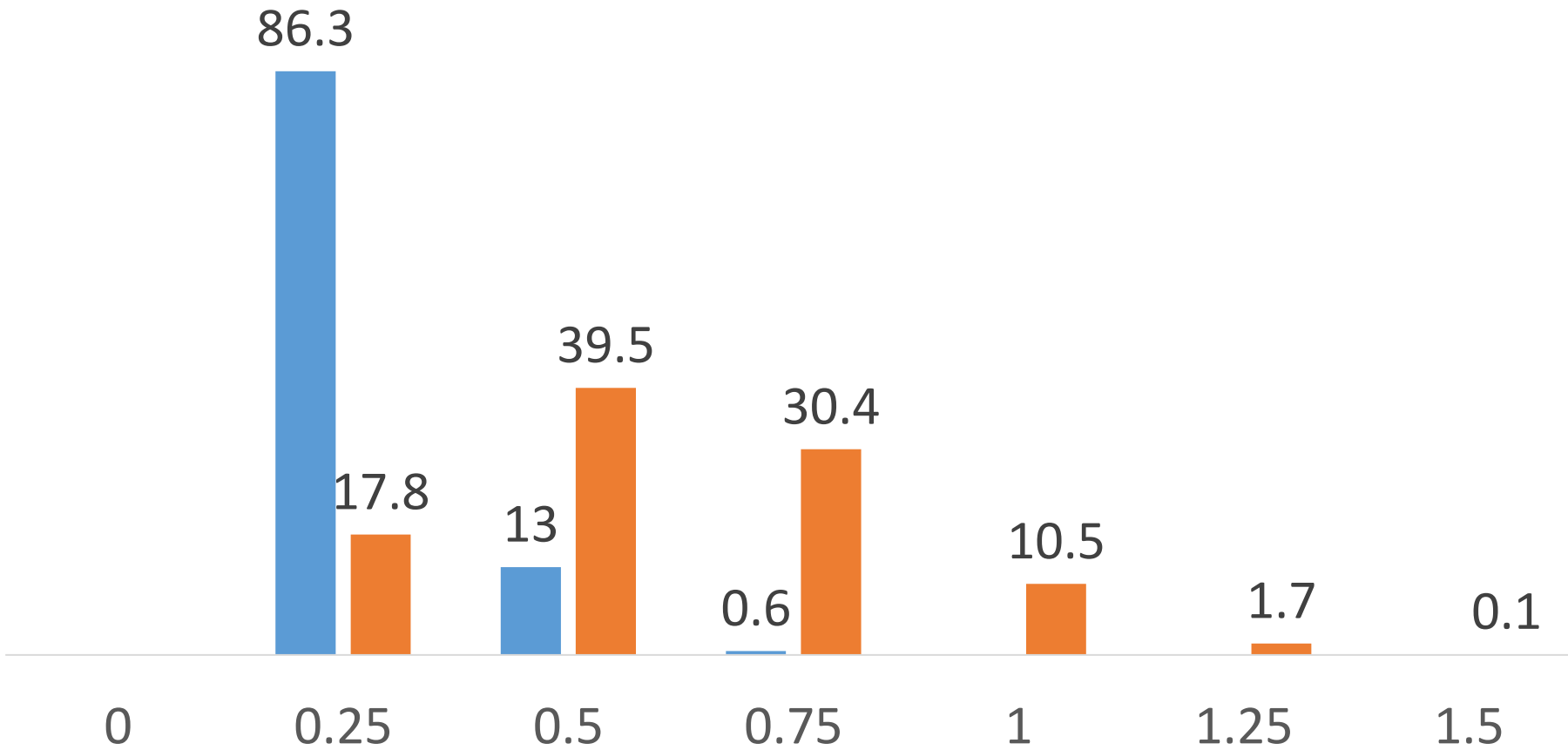
2022年6月15日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



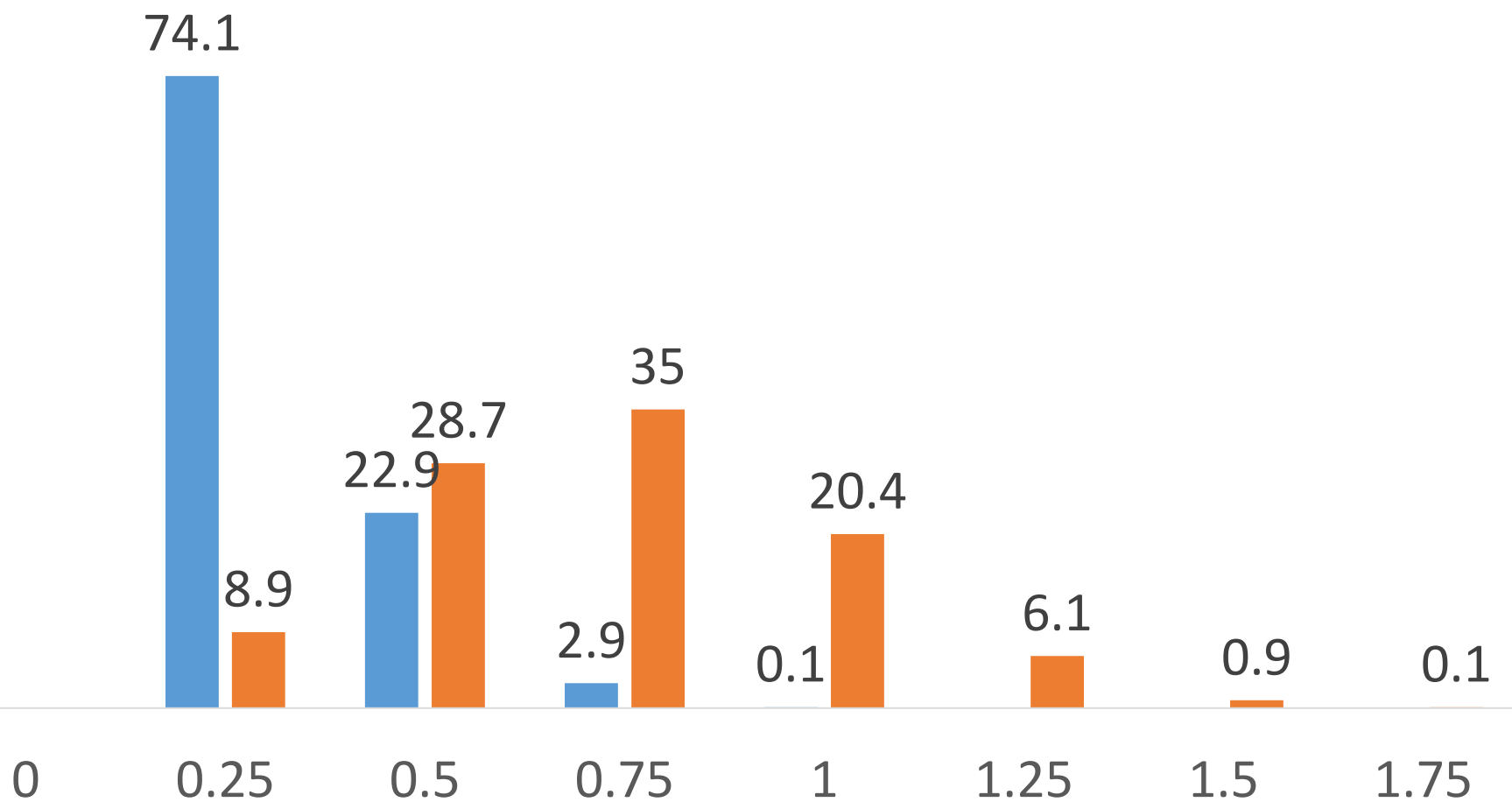
2022年7月27日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



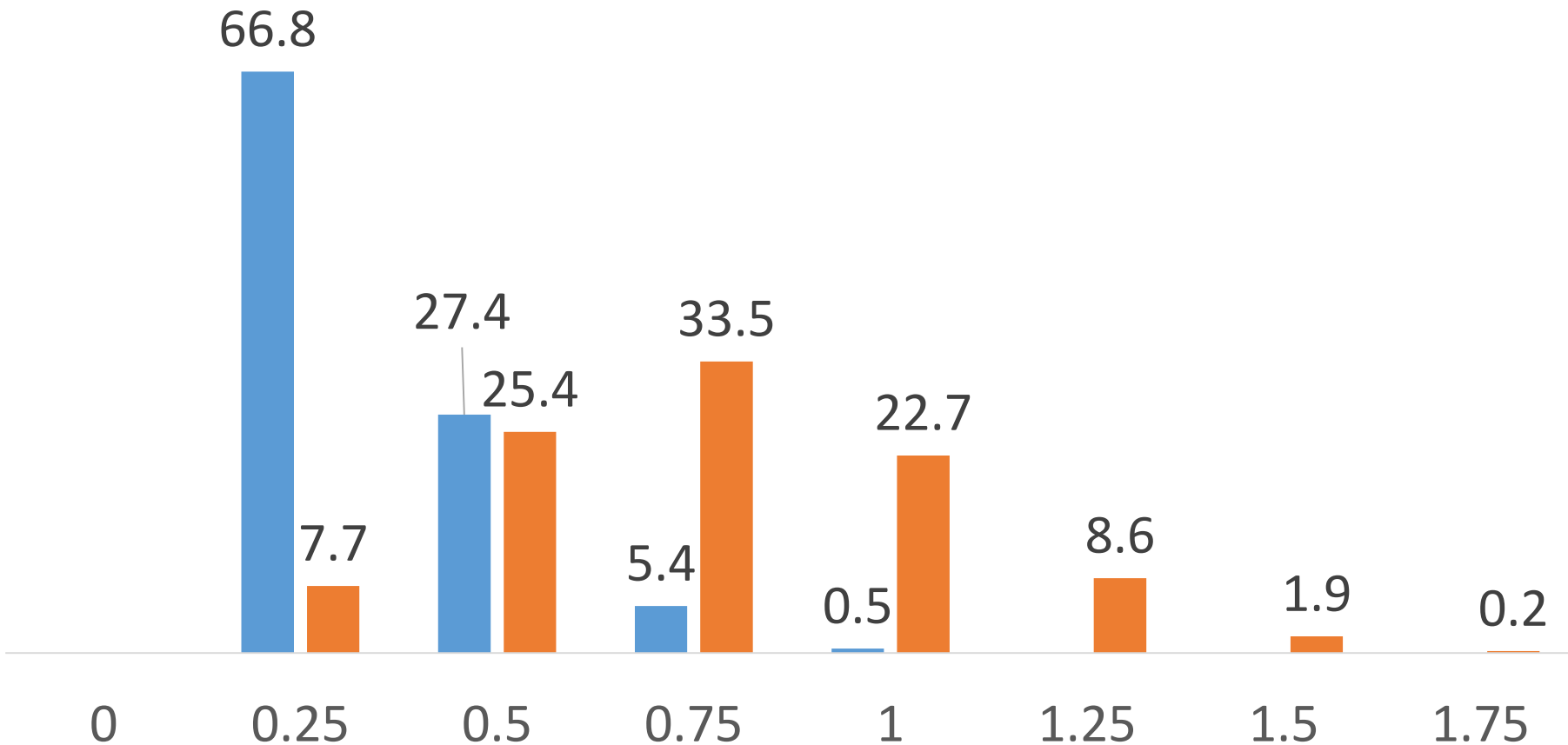
2022年9月21日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



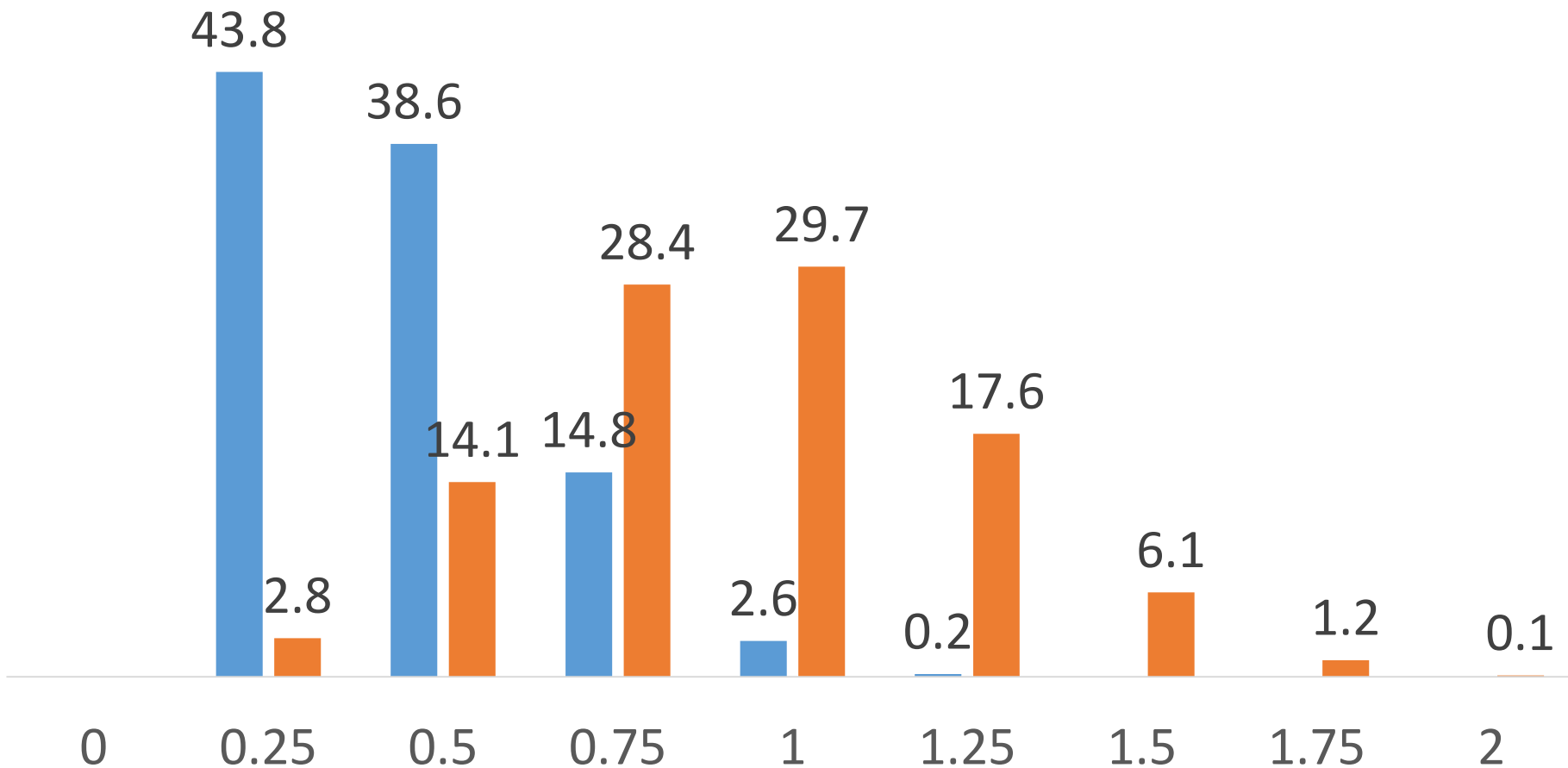
2022年11月2日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



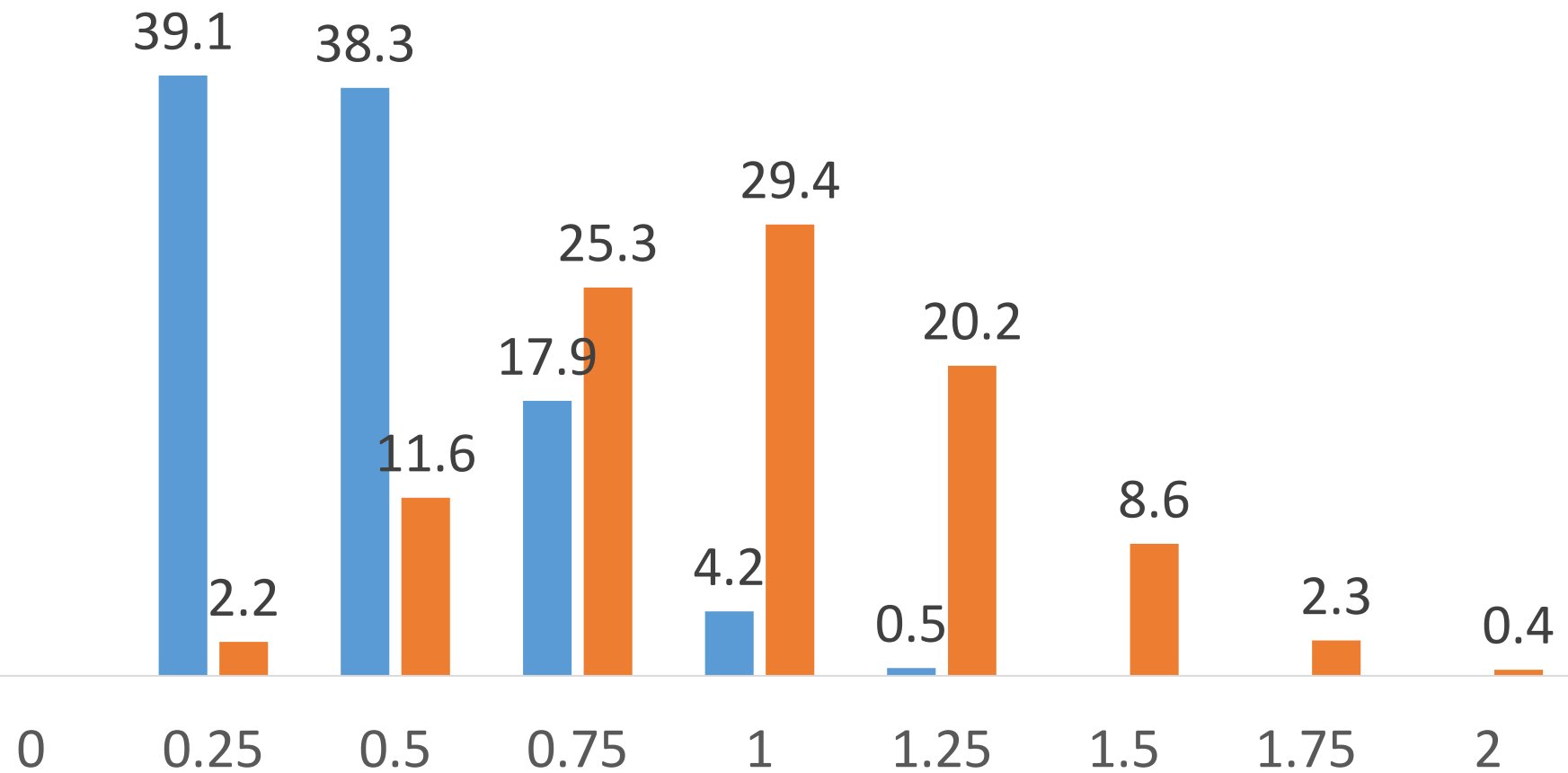
2022年12月14日のFOMCでの政策金利の確率(%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日

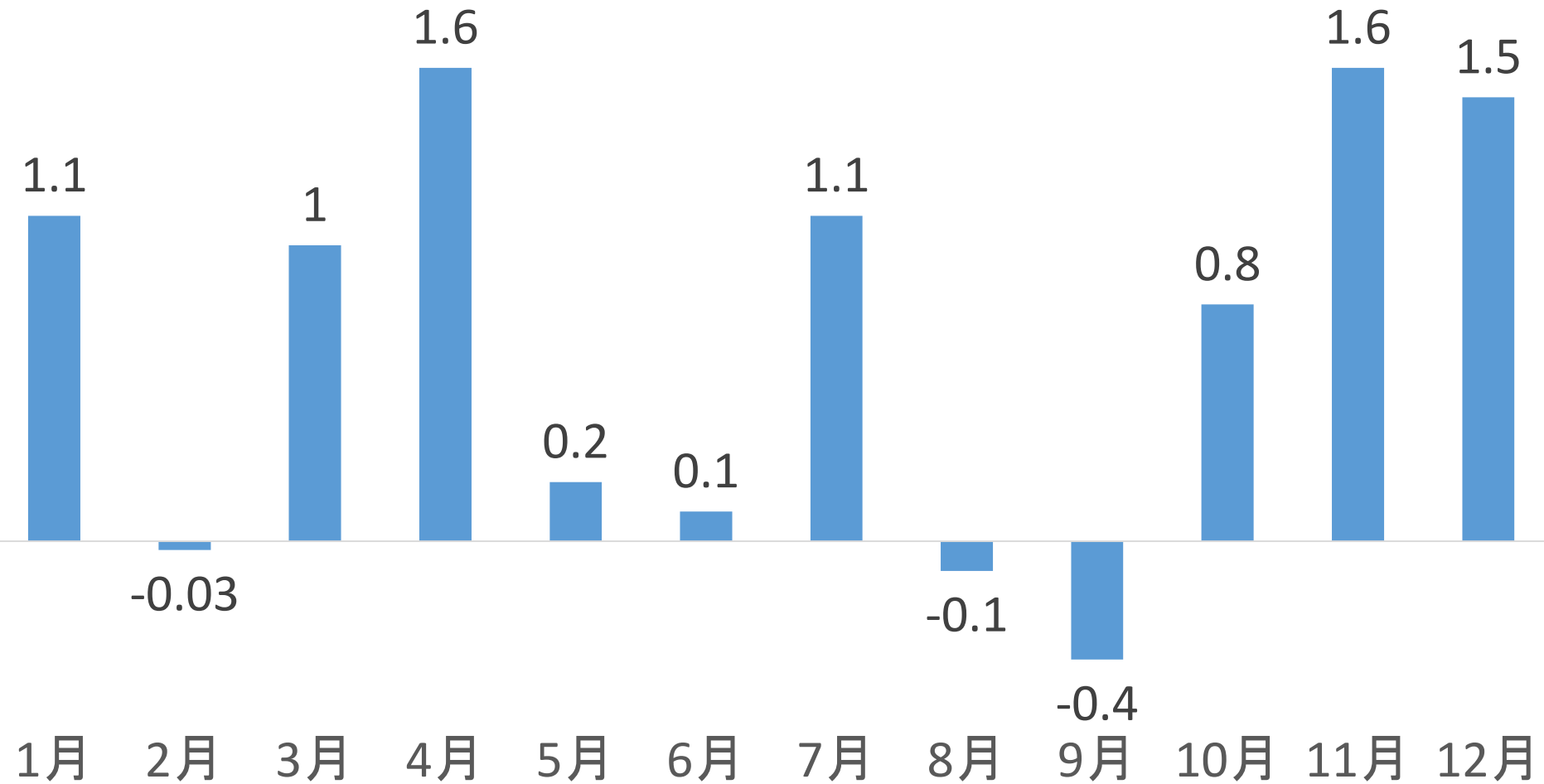


2023年2月1日のFOMCでの政策金利の確率 (%、CME FedWatch)

■ 9月22日 ■ 10月27日



S&P500月次パフォーマンス(%、1950年1月～ 2020年5月、ストックトレーダーズ・アルマナック)



参考銘柄

- アップル (AAPL)
- アマゾン (AMZN)
- アルファベット (GOOG)
- マイクロソフト (MSFT)
- テスラ (TSLA)

アップル(AAPL)

- EPS予想\$1.24、結果\$1.24
- 売上高予想849.4億ドル、結果834億ドル(前年比+28.9%)
- iPhone売上高予想417億ドル、結果389億ドル
- iPad売上高予想75億ドル、結果83億ドル
- ウェアラブルズ売上高予想94億ドル、結果88億ドル
- Mac売上高予想96億ドル、結果92億ドル
- サービス売上高予想183億ドル、結果183億ドル
- サプライチェーン問題、半導体不足で売上高が60億ドル悪影響を受けた
- 第1四半期のサービス売上高は減速が予想される

アマゾン (AMZN)

- EPS予想\$8.96、結果**\$6.12**
- 売上高予想1116.6、結果**1108.1億ドル**(前年比+15.3%)
- AWS売上高161.1億ドル(前年比+39%)
- 第4四半期売上高予想1421.5億ドル、新ガイダンス**1300~1400億ドル**
- 第4四半期営業利益予想79.8億ドル、新ガイダンス**±0から30億ドル**
- 人手不足、賃金高騰で40億ドルのコスト増を第4四半期に見込んで
いる

アルファベット (GOOG)

- EPS予想\$23.37、結果\$27.99
- 売上高予想633.5億ドル、結果651.2億ドル(前年比+41.0%)
- グーグル・サーチ広告売上高379億ドル(前年比+44%)
- YouTube広告売上高72億ドル(前年比+44%)
- グーグル・クラウド売上高49.9億ドル(前年比+45%)
- 小売業からの広告引き合い多
- YouTubeブランド広告は去年とても強かったので減速しているように見えるが問題なし
- 第4四半期売上高の前年比較は去年がそこそこ良かったのでやや苦しい

マイクロソフト (MSFT)

- EPS予想\$2.08、結果\$2.27
- 売上高予想440億ドル、結果453.2億ドル(前年比+22.0%)
- プロダクティビティ&ビジネス・プロセス部門はガイダンスを上回る150億ドル(前年比+22%)⇒来期が157~159.5億ドル
- インテリジェント・クラウド部門はガイダンスを上回る170億ドル(前年比+31%)⇒来期が181~183.5億ドル
- モア・パーソナル・コンピューティング部門はガイダンスを上回る133億ドル(前年比+12%)⇒来期が163.5~167.5億ドル
- 第4四半期売上高予想489.2億ドルに対し新ガイダンス501.5~510.5億ドル

テスラ(TSLA)

- EPS予想\$1.61、結果\$1.86
- 売上高予想137億ドル、結果137.6億ドル(前年比+56.8%)
- 生産台数237,823台(前年比+64%)
- 納車台数241,391台(前年比+73%)
- 長期に渡り納車台数で前年比+50%を達成できる見込み
- ハーツ・レンタカーが10万台を発注、2022年末までに納車

質疑応答